

令和8年度 鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

Ⅰ 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

Ⅰ 全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT=Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率 (%)		平均無解答率 (%)		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語3技能
3 年	学校	31	40	27	12.0	29.1	397
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

- ＜国語＞ 平均正答率の全国比は、ここ数年間上昇してきたが、今年度は前年度を下回った。一方、無解答率は昨年より減少し、あきらめずに取り組む姿勢は向上している。全国と比較して、平均正答率はいずれの領域も下回っているが、「言葉の特徴」「話すこと」「聞くこと」の領域においては一昨年の水準は維持できている。
- ＜数学＞ 平均正答率の全国比、無解答率はいずれも昨年度、一昨年度の値を大きく下回った。領域別にみてもいずれの領域も全国平均正答率を30ポイント近く下回っており、基礎的な学習事項の学び直しが喫緊の課題である。
- ＜英語＞ 全国や大阪市の平均IRTスコアと比較して、英語3技能で100ポイントも下回っており、基礎的な学習項目の習得に課題があることがわかる。

今後に向けて

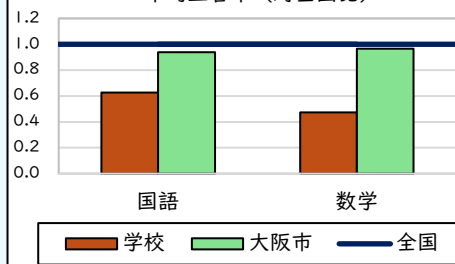
- ＜国語＞ 全国と比較して「話すこと」「聞くこと」の問題の正答率が低かったことから、多様な文章に接する機会を確保することで、基本的な語彙力の向上や根拠を考えながら聞くことや話すことを意識させ、最終的に記述できるよう働きかけていく。
- ＜数学＞ 依然としてすべての分野において、正答率は全国値を下回る状況であり、引き続き基本的事項の習得が不可欠である。反復演習を行うための基礎的な学習事項を細かく確認し、小テストでの理解度の確認・補習が必要である。また、短答式、記述式の無回答率がかなり高いことから、普段の授業から物事を考え、表現する力を高めていく必要がある。
- ＜英語＞ 将来、英語を積極的に活用した職業に就きたいと考える生徒は、全国や大阪市の値を上回っていることから、英語への関心は高いと考えられる。一方で英語が得意と感じている生徒は多くないことからスモールステップで達成感を持たせながら表現力や学力の向上をはかっていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

平均正答率（％）

	国語	数学
学校	40	27
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0

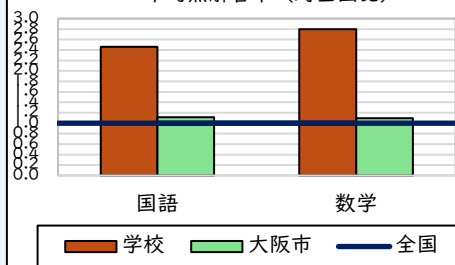
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	数学
学校	12.0	29.1
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4

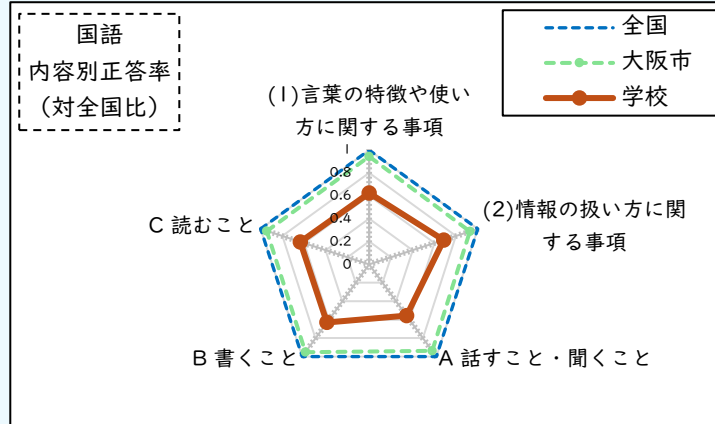
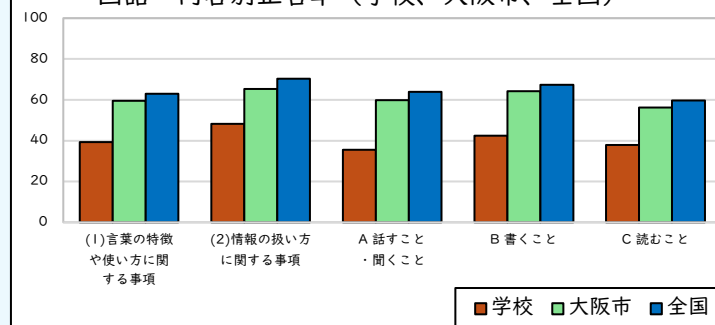
平均無解答率（対全国比）



【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	39.3	59.5	63.0
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	48.3	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	35.6	59.9	63.9
B 書くこと	3	42.5	64.2	67.4
C 読むこと	3	37.9	56.3	59.7

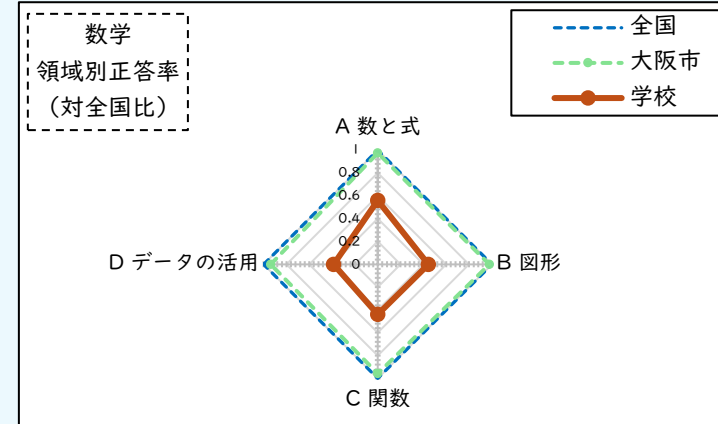
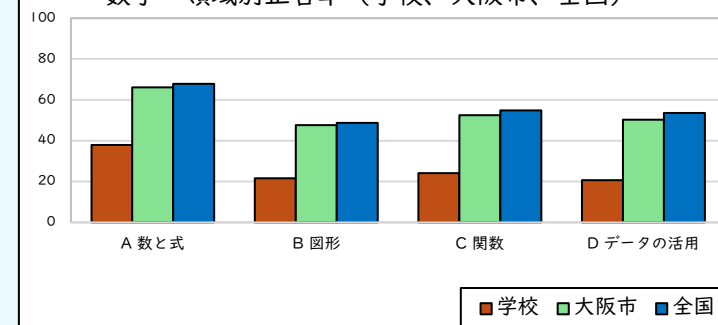
国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	37.9	66.1	67.8
B 図形	4	21.6	47.6	48.7
C 関数	3	24.1	52.5	54.8
D データの活用	4	20.7	50.2	53.5

数学 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



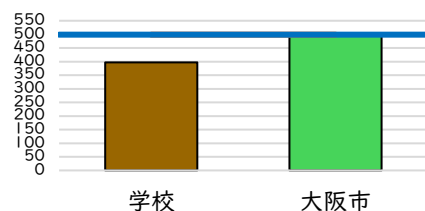
令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要（英語）

英語 平均IRTスコア

学校	(397)
大阪市	(499)
全国	(499)

※（参考）3技能の平均IRTスコアです

平均IRTスコア 英語 3技能



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和8年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものです。3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなります。

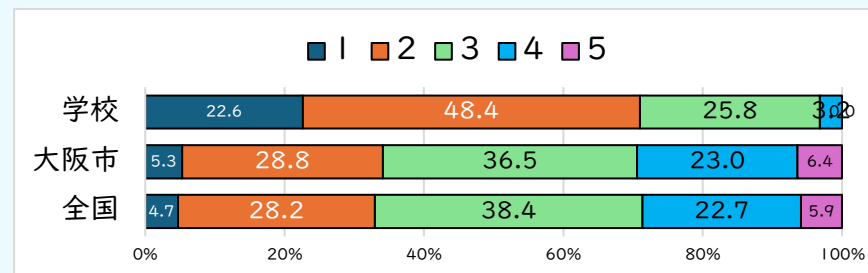
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

IRTバンド分布比較（3技能）

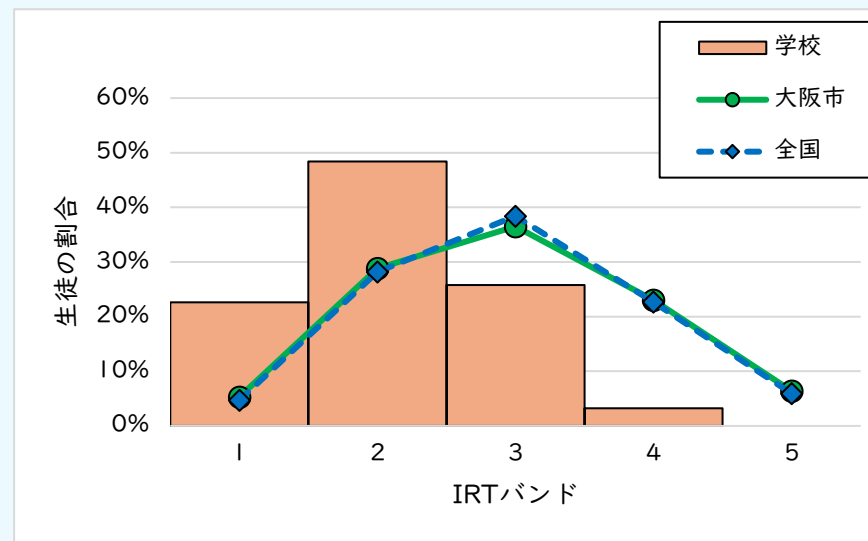
	1	2	3	4	5
学校	22.6	48.4	25.8	3.2	0.0
大阪市	5.3	28.8	36.5	23.0	6.4
全国	4.7	28.2	38.4	22.7	5.9

※3技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（3技能）



IRTバンド分布グラフ（3技能）



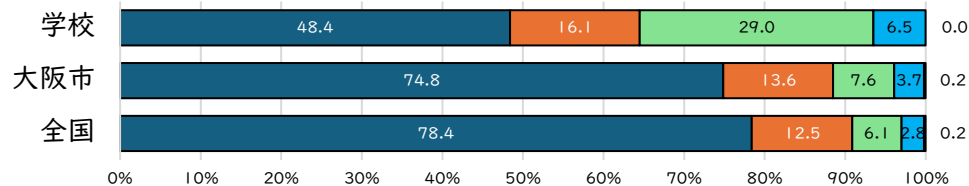
生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

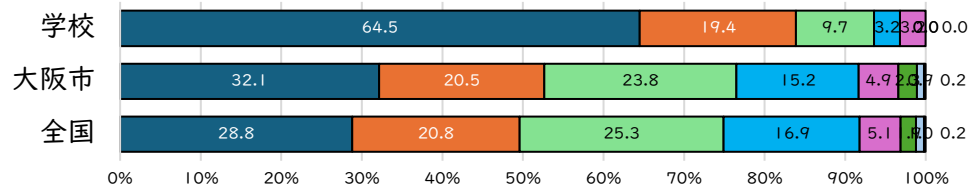
質問番号 質問事項

(1) 朝食を毎日食べていますか



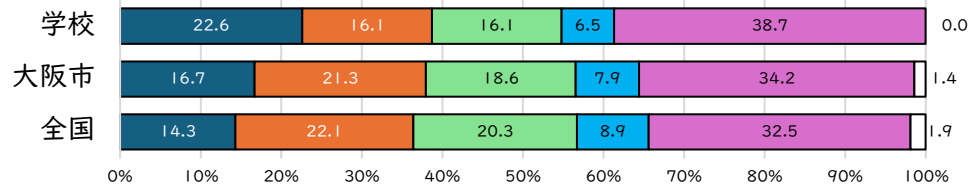
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(4) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



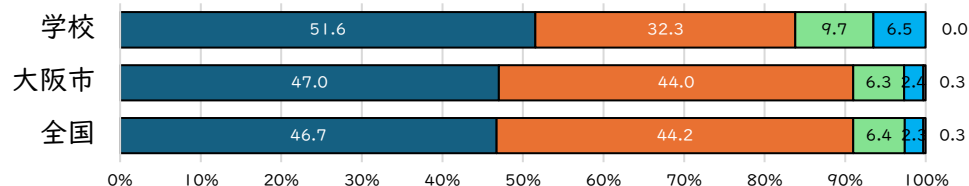
1 4時間以上
2 3時間以上、4時間より少ない
3 2時間以上、3時間より少ない
4 1時間以上、2時間より少ない
5 30分以上、1時間より少ない
6 30分より少ない
7 スマートフォン等を持っていない

(7) 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか



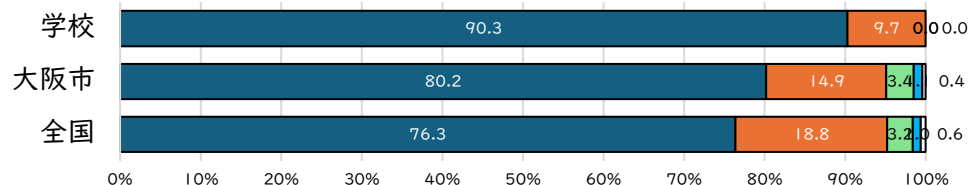
1 ほぼ毎日
2 週に1~2回
3 月に1~2回
4 年に1~2回
5 ほとんど、または、全くない

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

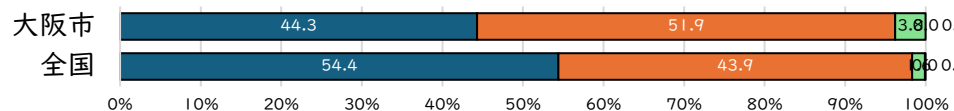
質問番号

質問事項

(11)

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 | よく行った

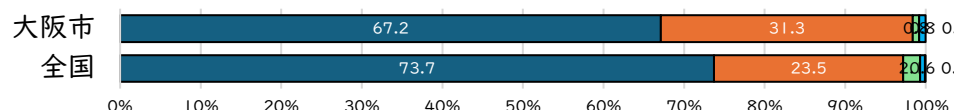


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 | そう思う

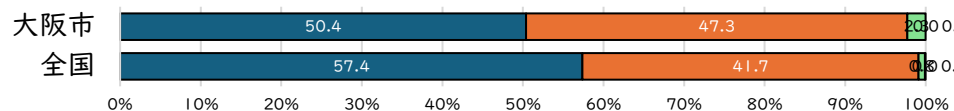


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(19)

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

【学校の回答】 | そう思う

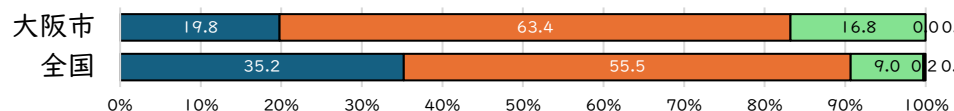


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(20)

今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いですか

【学校の回答】 | そう思う

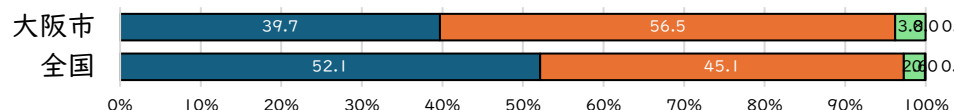


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(77)

ICT機器やインターネットの利活用について、目的や場面に応じた適切な使い方や、利活用にあたってのルールやマナー（長時間利用防止や情報の取扱いも含む）に関する指導を行いましたか

【学校の回答】 | よく行った



- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行わなかった
- 4 全く行わなかった